

2024年度 全乗務員に対する安全教育年間計画表

実施予定月	実施項目	実施内容	実施日
4月	乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項	1.「急」の付く運転はしない 3.安全な速度と車間距離 5.シートベルト着用の徹底 2.カーブでの追い越しはしない 4.乗客の状況確認 6.走行中の運転への集中	
5月	乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項	1.乗降時の乗客の安全確保 2.高齢者・障がい者の乗車時の安全確保	
6月	運行路線・経路における道路及び交通の状況	1.運行路線・経路における道路・交通情報の把握 2.情報に基づく安全運行のための留意点	
7月	危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	1.危険予測運転の必要性 2.危険予測のポイント 3.危険予知訓練 4.指差呼称及び安全呼称 5.緊急時における適切な対応 6.異常気象における対処方法 7.非常用信号用具、消火器の取扱	
8月	運転者の運転適性に応じた安全運転	1.適性診断の必要性 2.適性診断結果の活用方法	
9月	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	1.交通事故の生理的・心理的要因 2.過労運転防止のための留意点 3.飲酒運転防止のための留意点 4.ヒューマンエラーを防ぐために	
10月	健康管理の重要性	1.健康起因の事故と健康管理の必要性 2.健康管理のポイント	
11月	安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法	1.運転支援装置に係る事故事例 2.運転支援装置の性能及び留意点	
12月	ドライブレコーダーを用いた指導	1.各バスに搭載したドライブレコーダーのデーターを基に、 個々の運転者の特徴を把握させる 2.ドライブレコーダーのデーターを活用したヒヤリ・ハット体験等の 自社内での共有	
1月	バスを運転する場合の心構え	1.バス事業の公共性と重要性 2.バス事故の社会的影響 3.安全運行の心構え	
2月	バス運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと	1.バス運行に係る法令 2.義務を果たさない場合の影響の把握	
3月	バスの構造上の特性	1.バスの特性に合わせた運転 2.多様化する車両に合わせた運転	
適時	労基法及び改善基準告示	1.拘束時間・休息期間について 2.拘束時間の限度と休息期間・拘束時間の限度と休息期間の確保について 3.運転時間の限度・時間外労働および休日労働の限度について 4.分割休息の特例・2人乗務の特例について	
適時	救急救命講習	1.AEDの基本操作方法 2.成人の場合の救急蘇生法 3.小児の場合の救急蘇生法	

遊覧観光(株)
代表取締役 坂井田浩子
安全統括管理者 平野香織